

SPIE Medical Imaging 2023での海外発表



目で見る
海外論文発表

喜多 洸介*

Attending SPIE Medical Imaging 2023

Key Words : Deep Learning, Multi Modal, Magnetic Resonance Imaging,
Patient Information

<参加会議名>

Society of Photo-Optical Instrumentation
Engineers Medical Imaging 2023

<開催場所> サンディエゴ、アメリカ

<渡航期間> 2023年2月18日~23日

<発表タイトル>

Bi-Modal Network Combining Convolutional
Neural Network and TabNet, Differentiating
Spinal Tumors based on Images and Clinical Risk
Factors

私は今回、2023年2月19日~23日にアメリカのサンディエゴで開催された国際会議 SPIE Medical Imaging 2023 (Society of Photo-Optical Instrumentation Engineers Medical Imaging) に参加し、研究発表と学術交流を行った。SPIE は、1955年7月1日、写真計測機器の応用を専門とする写真計測技術者協会としてカリフォルニア州に設立され、1964年に名称を「Society of Photo-Optical Instrumentation Engineers」に変更した。1977年、本部をワシントン州ベリンガムに移し、1981年には会員の変化を反映し、(DBA) SPIE-The International Society for Optical Engineering としてビジネスを開始した。2007年には DBA を終了し、現在は単に SPIE, the international society for

optics and photonics と呼ばれている。光学、フォトリクス、画像工学の分野における知識の交換、収集、普及を目的とし、主に、光学、光工学、画像工学など光を扱う物理分野の研究者や開発者を対象に、技術会議、展示会、継続教育プログラムを開催する。その中でも、今回参加した SPIE Medical Imaging は医療画像に特化した学会である。

私は、MRI 画像と患者情報から脊髄腫瘍を鑑別する Multi-modal AI に関する研究について発表した。これまで画像のみで鑑別する AI が多かったが、我々が提案した Multi-modal AI は既存の Unimodal AI と比較して有意に精度の高い結果を示した。人生で初めての国際学会での発表であったため、どのように発表や質疑応答が進むのか想像できなかったが、質問者の英語の聞き取りは問題なくでき、たどたどしくも質問に答えることが出来た。また、世界中の研究者たちの発表を聞き、考えを共有することは大変刺激的な体験であるとともに、自分の知識不足を改めて認識し、今後の研究意欲に大きな影響を与えた。

最後に、このような貴重な機会を下さった生産技術振興協会に、深く感謝申し上げます。



* Kosuke KITA

1990年12月生まれ
大阪大学医学部医学科 (2015年)
現在、大阪大学大学院 人工知能画像診断学講座 医学部 医学課 医学系
大学院生
Medical Doctor
専門/整形外科
TEL : 06-6879-3434
FAX : 06-6879-3439
E-mail : u879269j@gmail.com



図1 メインエントランスの前で



図2 他発表者との交流

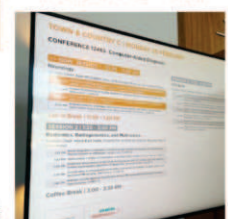


図3 発表演題の掲示